

# 東京岩高会会報

第62号

令和2年7月18日

「千年クロベ」黒ひのきの古木/2019年 栗原市天然物に指定  
写真「東京岩高会ふるさと大使 土井祐之 / S.54卒」

## 第64回（令和2年）東京岩高会総会は中止いたします

平素より、東京岩高会に対しまして、同窓会本部、本校先生方、会員そしてふるさと会の関係者の皆様には、ご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、11月に予定しておりました「東京岩高会 総会」は中止にすることと致しました。

3月中旬、毎年総会会場として利用している上野グリーンパークが新型コロナウイルスの煽りを受け、閉店するとの連絡が入ってきました。既に、都内のホテルやレストランが休業してきている中、半年先の会場手配が困難となると察した菅原由美子副支部長は、これまでの経験や手元にある情報等から、KKRホテル東京を提案してきました。ここは築館高校同窓会 小野寺洋子さんが務めるホテルでもあります。栗原市内の4校（迫桜高・築館高・一迫商高・岩高）では、各校の同窓会への出席や会報誌での情報交換、そして数年前からは12月に4校合同のクリスマス会を開催するなど、その繋がりが深まってきております。4月に入りKKRホテル東京の小野寺さんへ伺い、皇居を見渡せる素敵な会場をご用意して頂きました。通常であれば10人がけのテーブルをその半分の5人がけでのフィジカルディスタンスとし、料理は大皿ではなく個々の料理でご対応頂けるとのことでした。

当初 総会はなんとか開催できないかと模索し、案内には「新型コロナウイルスの感染状況によっては、中止の可能性があります。」の旨を付記し、最終決定は9月30日とすることも役員会で確認しておりました。

5月末 本部同窓会 中止との連絡を受け、改めて役員の皆様方に総会開催是非を確認したところ、「実施するも自粛するも、良い方向に進めていきましょう。不安感が高まったら即決自粛致しましょう。」と。一方で別の役員からは、「今は罹りたくない、この会から感染者を出したくない思いが強いです。」との話がありました。

感染者数は減ってきているものの、ワクチンがまだ出来ていないことや、今後第2波の懸念もあることから、皆様方の健康と安全面を第一と考え、今年の総会は中止とする結論に至りました。

今年は、東京岩高会を設立した26年卒の先輩方が88歳の米寿を迎えますので、総会でお祝いを行うこととしておりました。今後の状況をみて、別途 機会を設けてこれまでのご労苦と感謝をこめ、お祝いをしていきたいと考えております。

会報の発送にあたっては、これまで上野グリーンパークで行っていたところ、迫桜高校同窓会 東京支部事務局長の阿部武寿さんのご厚意で関係する会場をお借りでき、これも同窓会繋がりがもたらしてくれたことであり、改めて人と繋がりに感謝し栗原出身でよかったと思っております。

同窓会への熱い思いは来年に託し、また笑顔で皆様方とお会いできることを楽しみにしております。

東京岩高会  
支部長 長沼 和秋

# 今年も走る支部長として 頑張っています



**長沼 和秋**

同窓会  
東京支部長  
(就任H.28/11~)  
S.53年卒  
鶯沢出身

カトマンズマラソン  
2019.12走る

平素より、東京岩高会に對しまして、ご理解・ご協力を頂き御礼申し上げます。私のベースとなっている「同窓会」「マラソン」「ネパール」、ここ1年の動向についてご報告致します。

昨年11月に開催しました「東京岩高会総会」では、還暦の会の対象学年は私の学年53年卒でした。6月に花山で同級会があったことで還暦の会をご案内できたことで、総会当日は故郷からの8名を含む15名が駆け付けてくれました。42年ぶりに会う同級生もおり、会ってみれば、高校時代当時の「○○君」「○○ちゃん」と呼び

合い、バック・トゥ・ザ・青春となり、皆来てよかったと話しておりました。総会後は、2次会、3次会と流れていったの言うまでもありません。

「マラソン」は、これまで東京マラソン6回、地元の栗原ハーフマラソン2回、そしてネパールのカトマンズマラソン4回、出場しております。高校時代は陸上部でしたが、本格的にマラソンのトレーニングを始めたのは45歳の時で、今でも年に数回レースに出場しています。

走るのは週に4回、平日は帰宅後 月間200キロ走っているせいか、体重は高校時代のままです。ハーフ(21.0975km)は今でも1時間38分台で走れており、母校の女子駅伝チーム5名より2分程上回っているの、還暦を過ぎた今でも練習相手になりそうです。

「ネパール」の繋がりは36年前、JICA海外協力隊で参加した時からで、今でもカトマンズマラソン出場ですポーツ国際交流を行っています。今年は、2020東京オリンピック

で盛り上がっている筈でしたが、後1年待つこととなりました。知人がいるネパールオリンピック委員会とは都度連絡を取り合っています。ネパールスポーツ界を熟知しネパール

## 高 第63回東京岩高会総会



還暦の会 S.53年卒出席者

今年も、これまで築いてこられた先輩方の熱い思いと人との繋がりを大切に、支部長を務めてまいりますので、よろしくお願い致します。



Chief organiser Nilendra Raj Shrestha speaks as Province-3 Tourism Minister Arun Prasad Nepal (right) and former athletics coach Kazuaki Naganuma look on during a press meet of the 13th Kathmandu Marathon on Thursday.

### Province-3 govt, municipalities to support Kathmandu Marathon

カトマンズマラソン2019 プレス発表時新聞記事  
左から長沼、ニレンドラ大会代表、アルム観光大臣

# ！コロナに負けねべ！！



後藤 家光

岩高同窓会会長  
(就任R.元/8~)  
S.46年卒  
鷺沢出身

東京支部の会員の皆様、初めまして。令和元年八月に会長に就任いたしました昭和四十六年卒の後藤でございます。

東京支部の長沼支部長の趣味ほどではございませんが、郷土芸能である「鷺沢八ツ鹿踊り」・「鷺沢神楽」を趣味としております、前葛岡会長同様、よろしくお願い申し上げます。

着任早々、新型コロナウイルス感染症の猛威により、感染症拡大防止策として、二月二十八日の令和元年度同窓会入会式は、本来であれば各支部の支部長を来賓に体育館で実施するところでありましたが、応接室で学年幹事の委嘱と記念品の贈呈だけを行い、新たに八十二名の新会員が入会いたしました。

東京及び仙台の支部長には大変ご迷惑をおかけいたしましたこと深くお詫び申し上げます。

また、卒業式も在校生不参加、家族

も二名まで、来賓は栗原市長、PTA会長、同窓会長と三名で、参加者全員マスク着用という状況でした。

入学式については、四月七日に生徒は教室で、放送による入学式が執り行われ、新たに六十七名が本校に入学されました。

新型コロナウイルス感染症については、全国に緊急事態宣言がなされ、特に東京に於いては、非常事態宣言がなされ、日々百名を越す方々が発症しており、東京支部会員の皆様方に波及しないことを心からお祈り申し上げます。

また、新型コロナウイルスによる生活への影響は非常に甚大で、生活、外出規制、学校規制等に非常に大きな影響を与えております。

宮城県でも、休業や営業時間短縮の要請を決め、外出自粛の打撃を受ける飲食店等もあり、就業の場の喪失等大きな問題になっております。

幸い、栗原市に於いては、まだ発症事例はありませんが、栗原市長が「コロナに負けねべ！栗原市！！」と積極的で効果的な支援策を講じていく予定でいるようです。

東京支部会員の皆様方には、特定警戒都道府県として、大変な事態となっていることと思量されます。

どうかご自愛を頂き、この大変な時期を慎重に対応し、無事に乗り切っていただくよう心からお祈り申し上げます。

来年、岩ヶ崎高等学校「創立八十周年」を迎えますが、岩高同窓会も実行委員会の開催方法や本年度の総会が開催できるかどうか、非常に心配される状況となっております。

会員の皆様の新型コロナウイルス感染症に対する自己対応の仕方により、感染症の早期沈静化を期待しながら、状況にあった対応をしていきたいと思っております。

最後になりましたが、東京支部の益々のご発展と会員皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。



# 岩ヶ崎高校の今



菅原 賢一  
第26代学校長  
(赴任H.31/4～)

東京岩高会の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平日頃から本校の教育活動にご理解を賜り、ご支援、ご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、東京岩高会の皆様、高校は今、本当に大変です。1月に中国湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大（パンデミック）により、あらゆる学校は5月6日まで臨時休業することになりました。混乱の中、何とか卒業式と入学式は行うことができましたので簡単に振り返ってみます。

2月下旬、東京でも感染者が徐々に増加してきた時期、東京岩高会の長沼支部長から、電車の中で咳をすると周囲から睨まれるという話を伺いました。しかし、ここ栗原市岩ヶ崎では、除雪回数わずか1回という暖冬で麗らかな日々を送っており、消毒用アルコールとマスクを準備し、椅子の間隔を広げること、通常卒業式を実施できると

考えていました。

ところが、直前の2/27、安倍首相が全国の小中学校・高校・特別支援学校を春休みまで臨時休業するよう要請したのです。まさに晴天の霹靂です。それを請け県教委や近隣高校と調整を重ねた結果、同窓会入会式は応接室で代表生徒3名だけが出席する略式での実施。関東進学卒業生の歓迎会は中止。3/1の卒業式は、市長・PTA会長・同窓会長の3名のみのお来賓、在校生不参加、卒業生・保護者と職員はマスクを外さないことで体育館で実施することとなりました（写真）。

その後、春休みまでの長い1回目の臨時休業に入りましたが、3/19の専門家会議で「日本は持ちこたえている」「3つの密を避けながら学校活動やスポーツなどは実施できるだろう」という明るい兆し提言がなされ、22日ぶりの登校となった3/24、マスクをつけたままではありましたが終業式を実施。そして3/27によく部活動が開始されました。

それもつかの間、大崎市民病院の医師が感染し再び部活動は停止に。それでもクラスターの発生には至らなかつたため、卒業式と同じような形での入学式は可能だろうと考えていたところ、仙台市で学校関係者の感染、パプから

のクラスターの発生、首都圏からの転入者の発症等が重なり、県内感染者数が4/4・5の土日を含んで一気に2倍になったため、結局4/7は、マスク・消毒用アルコールを準備して、在校生不参加、来賓なし、新入生・保護者は6教室に分かれて「放送による入学式」の実施となりました（写真）。もちろん翌日からは2回目の臨時休業、本日4/15は登校日で、久々の生徒の声にワクワクしましたが、今後も5月の連休明けまで、週一回程度の登校で生徒の健康観察をしながら3回目の臨時休業に入る事になりました。

今年、令和2年は3年生49名、2年生60名、新入生67名の総勢176名でのスタートになります。32名の教職員とともに、各学年3クラスの小規模・少人数ならではの、小回りが利き、気配り・目配り・心配りの届く教育を目指していきます。

令和元年度の卒業生の進路実績を振り返ってみますと、国公立大学14名、私立大学89名、国公立短大2名、私立短大3名、大学校1名、高等看護学校10名、公務員7名、専門学校11名、民間企業6名で、国公立大・私立大の4年生大学合格者数を伸ばしたことが特徴的でした。生徒の頑張りももちろんですが、先生方も、岩ヶ崎高校の生徒達の可能性を

存分に引き出してきています。今後は、一日も早く通常登校になることを祈りながら、3年生の進路希望実現に向けた指導とともに、今年度から始まる新大学入試制度（共通テスト）に向けて、新しい試みを加えながら、さらに生徒達を伸ばしてあげたいと思います。

今後も東京岩高会の皆様のご協力とご支援を賜りながら、岩ヶ崎高校をますます発展させていきたいと考えております。最後になりましたが、東京では緊急事態宣言がでて、不自由な事ばかりとは思いますが、東京岩高会の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、挨拶いたします。



入学式

卒業式

# 本校近況



村松 和洋  
岩高総務部長

東京岩高会の皆様、日頃より本校の教育活動にご支援いただき、ありがとうございます。本校の近況についてお知らせします。

連日新型コロナウイルス感染拡大が報道されておりますが、2月末に政府からの休校要請を受けて、本校においても3月24日まで休校となつてしまいました。3月1日に第72回卒業式が行われ82名の生徒たちが学び舎を巣立っていきました。卒業式についても、卒業生、保護者2名、来賓3名、教職員、生徒会長のみのお席となり、感染防止に最大限配慮しながらの卒業式になりました。

3月27日には離任式が行われ、堀江珠久子先生、小野寺耕治先生はじめ8名の先生方を送り出しました。

4月7日に新任式が行われ、狩野友子先生、佐藤章穂先生、千葉朋彦先生など7名の先生方をお迎えしました。新任式とともに午後に行われた入学式においても、新型コロナウイルス感染

拡大防止に配慮し、放送による式典となり、新入生、保護者は別々の教室で、大型のモニター画面を視聴しながら行われました。4月8日からまた、臨時休校となり、生徒は家庭において学習を行い、週に1回登校日に課題を提出する日々が続いております。1日も早い、感染の終息を切に願う次第です。

さて、昨年度の本校の出来事を振り返ってみますと、学習における頑張りはもちろんのことですが、生徒達の部活動での活躍があげられます。私見ではありますが、硬式野球部の活躍は目を見張るものがありました。部員13名という少数での活動ながら、前年の秋季大会につづき、春季大会においても敗者復活戦から粘り強く勝ち進み、連続して県大会出場を果たしました。1回戦仙台城南高校と接戦を繰り広げ、適時打を打ち勝ち上がり、連続してベスト16という結果となりました。甲子園大会宮

城県予選では残念ながら敗退となりましたが、強豪学院榴ヶ岡と対戦し、頭脳的な試合運びで1点リードのまま最終回を迎えるなど、野球関係者からの賞賛に値する活躍を見せてくれました。

また、男子バレーボール部も見事な活躍が見られました。部員7名ながら、後半に崩れない試合運びで地区新人大会で優勝し、県新人大会においても1回戦仙台向山高校に勝利したあと、2回戦も見事な試合運びで第7シードの明成高校をやぶるという活躍で、3回戦も名取高校に勝利をおさめ、ベスト8入りを果たしました。日頃から家庭の協力もあり、週末、休日を返上して練習試合で実力を高めてきた結果であったと思います。

さらに、吹奏楽部は継続的な熱心な活動で、定期演奏会はじめ、登米栗原地区総合文化祭や各種コンクールに出場し頑張っております。合唱部は様々な大会やイベントに参加し、高い評価を得ています。科学部は「模型を用いた栗駒山の噴火実験」で県生徒理科研

究発表会で部会長賞を受賞しました。このように、様々な生徒達の活躍がみられた1年でした。今後とも生徒達へのご声援をよろしくお願いいたします。



離任式



新任式



バレー部



野球部

## 本校近況（生徒代表）



岡崎 佑也  
生徒会副会長

不安と期待を胸に臨んだ入学式。それから早いもので二年が経ちました。最高学年となり、岩ヶ崎高校を昨年よりもより良い学校にしようと私たち生徒会は様々な行事の準備に取り組んでいたところでした。

新型コロナウイルスの影響により、卒業式や入学式は小規模で行われました。卒業式では、生徒会長が生徒代表として参加し、卒業生へはなむけの言葉を贈りました。また、入学式や新入式、始業式は放送で行われました。入学式後は新入生オリエンテーションや対面式等のとても賑やかなイベント、絶対に失敗できない一世一代の各部活動による新入部員の勧誘争奪戦などの恒例行事、1年生のそれぞれの教室で歌う朝の校歌練習といった行事が今年はできませんでした。どの学年の生徒や先生たちも、4月からスタートを切り、部活動や授業や行事をしたいと思っていたと思います。

さて、こういった社会情勢の中、特に私たち生徒が少し残念だなど思うのは、高校体育大会や総合文化祭といった大会の中止だと思います。三年生はこの大会にかける思いは誰よりも強いはずです。今この文章を読んでいる三年生の中で「これまでの二年間は何だったのだろうか」という気持ちに一度はなっただろうと思うし、また、これまで先輩を支えてきた後輩たちも同じように思っていると思います。三年生はこの悔しさをバネにして、自分の将来に向けて頑張っていきましょう。後輩たちは急に新体制となり、最初は戸惑うかも知れませんが、これから先、部活動を楽しんで下さい。

最後に、これまでの岩ヶ崎高校の生活を踏まえて、私はこの学校に入學して良かったなど実感しています。イベントや行事などは全校生徒が常に全力で取り組みます。それが岩ヶ崎高校の最大の強みであり、魅力だと思います。新型コロナウイルスが終息し、学校が無事に再開したときは、止まっていた時間がとても長かったので、出来る事から一つ一つ取り組んでいき、その魅力や強みを活かし、より良い学校になれるように、これからの岩ヶ崎高校を、生徒会を中

心に盛り上げていきます。









# 第63回東京岩高会総会開催される

第63回東京岩高会総会は、令和元年11月23日(土)午前11時、上野公園グリーンパークにて開催され、同窓生と来賓総勢93名の出席を頂きました。

近隣の高校の迫桜高校、築館高校からは昨年に引き続き関係者の出席を頂きました。

総会はS48年卒 千葉正宏副支部長の司会進行で始まりました。

S36年卒 加藤旭孝幹事による開会宣言が行なわれ、長沼支部長の挨拶で総会の幕を開きました。挨拶ではS45年卒 後藤仁様から茨城の焼き芋、S53年卒 五十嵐功様が常務取締役を務める「くりこま高原ファーム」様から懐かしい旧校舎の写真が印刷された包装のお米、そしてS33年卒 中尾富枝様の著書「マッカーサーと呼ばれた女性」(戦後鷺沢で「ノンちゃん雲に乗る」の石井桃子さんとともに酪農を行った狩野ときわさんについて書かれており、S53年卒 故狩野洋さんの祖母)が、出席者全員に提供があった旨の報告がありました。

ご来賓を代表して後藤家光同窓会

会長、菅原賢一学校長からご挨拶を頂きました。

議事進行はS46年卒 浅野弘巳幹事が議長に選出された後、各幹事から活動報告や会計報告並びに次年度の計画案が発表され、満場一致で承認されました。

特別プログラムは、S47年卒の和久充幹事による「香りの世界」のご講演。長年香料会社

に勤められ、香りで各種ガンの早期発見が可能になるなど、とても興味深いお話でした。

引き続き、今年還暦を迎え地元栗原からお越し頂いた五十嵐功様による乾杯で懇談が始まりました。

去年に続き、S55年卒 菅原広巳さんのアメリカンカン トリーブルスによるライブ。今回 同郷でもある岩ヶ崎出身者が多くいたことから、披露頂きました。

還暦の会には、S53年卒が故郷から8名駆け付けて頂き、計15名集い、出席者全員に高

野山金剛峯寺の御札が贈られました。また、喜寿を迎えたS36年卒の方々には記念品が贈られました。

そして、本年も故郷物産販売があり、菅原由美子副支部長による「味噌のしそ巻」「栗駒漬物」「まぼろしのまんじゅう」等の販売が行なわれました。今回の総会では、還暦を迎えた同窓生を集うにあたり、一つの声掛けから始め、「東京に行ってみよう」「あなたも来なよ!」と広がり、「来年も

来てみたい」と繋がった会でもありました。

最後は、出席者が腕を組み合い「高校3年生」「ふるさと」を歌い、正に「絆」のラインとなり、応援団を務めた山本信子幹事で「フレーフレー高」と校歌斉唱を行い大歓喜の渦が巻き起こった会となりました。

閉会の辞は東京岩高会 菅原由美子副支部長が行い、閉会となりました。



役員一同



No.	号	年	氏名
1	賛助		斎藤 君代
2	宮城		滝上 島雄
3	宮城		飯田 正量
4	宮城		菅原 隆文
5	宮城		後藤 仁
6	宮城		加藤 洋
7	宮城		岩本 定美
8	S	26	伊藤 七郎
9	S	26	小野寺 喜美夫
10	S	26	亀井 榮利
11	S	26	佐竹 章
12	S	26	八十島 信治
13	S	28	及川 博子
14	S	28	小野寺 美代子
15	S	28	伊藤 末治郎
16	S	28	高橋 昭三
17	S	28	吉野 玲子
18	S	29	鎌田 匡之
19	S	29	藤代 實
20	S	30	白鳥 吉幸
21	S	30	菅原 正八
22	S	30	菅原 寛
23	S	31	菅原 一
24	S	32	鈴木 俊之
25	S	32	高橋 東三
26	S	33	木名瀬五百子
27	S	33	中尾 富枝
28	S	34	石井 紀子
29	S	34	小林 たか子
30	S	34	菅原 紀子
31	S	34	横川 朝治
32	S	35	鎌田 正聰
33	S	35	小柳 典子
34	S	35	須田 和恵
35	S	35	高橋 嘉紀
36	S	35	内藤 利雄

No.	号	年	氏名
37	S	36	小畑 丈夫
38	S	36	加藤 旭孝
39	S	36	久保田 信子
40	S	36	佐々木 稔
41	S	36	菅原 富夫
42	S	36	奈須野 栄子
43	S	36	濁沼 松郎
44	S	36	袋 幸男
45	S	36	穂積 宏哉
46	S	36	渡部 朋子
47	S	37	伊藤 克侑
48	S	37	木下 峰子
49	S	37	熊谷 栄子
50	S	37	佐々木 くに子
51	S	37	真保 清美
52	S	37	菅原 三千男
53	S	37	鈴木 晃
54	S	37	須田 陽子
55	S	37	高橋 道彦
56	S	37	結城 家寿子
57	S	37	吉野 久子
58	S	38	大関 信輔
59	S	38	佐藤 次夫
60	S	38	只野 和夫
61	S	38	二川 陽子
62	S	39	岩淵 和夫
63	S	39	佐々木 元子
64	S	40	小山 ハルミ
65	S	40	桑原 盛一
66	S	40	高橋 節郎
67	S	41	鈴木 仙治郎
68	S	41	蘓武 巖
69	S	42	小川 晶平
70	S	42	河合 礼子
71	S	42	佐藤 寛逸
72	S	42	佐藤 美喜子

No.	号	年	氏名
73	S	42	高橋 秀男
74	S	42	宮本 洋子
75	S	43	四倉 けい子
76	S	44	伊藤 税
77	S	44	加藤 美道
78	S	44	佐々木 敏行
79	S	44	佐藤 正俊
80	S	45	伊藤 初雄
81	S	46	浅野 弘巳
82	S	46	伊藤 光男
83	S	46	佐藤 猛
84	S	46	菅原 博子
85	S	46	菅原 正雄
86	S	46	長瀬 真一
87	S	46	守屋 みさ子
88	S	46	山本 信子
89	S	47	太田 洋子
90	S	47	川村 信子
91	S	47	菅原 修悦
92	S	47	和久 充
93	S	48	浅野 和優
94	S	48	石野 久恵
95	S	48	岩崎 哲雄
96	S	48	宇佐美 弘子
97	S	48	梶本 啓
98	S	48	澤田 由紀子
99	S	48	鈴木 美作子
100	S	48	千葉 繁典
101	S	48	千葉 正宏
102	S	48	本田 みき子
103	S	48	密島 眞夫
104	S	49	熊谷 ふじえ
105	S	49	畠山 純子
106	S	49	佐々木 哲夫
107	S	49	菅原 由美子
108	S	49	濱口 幸江

No.	号	年	氏名
109	S	49	真下 由利恵
110	S	49	松田 清子
111	S	49	渡部 由利子
112	S	50	熊谷 純一
113	S	50	菅原 俊雄
114	S	51	古館 芳子
115	S	52	菅原 節子
116	S	52	高橋 聖
117	S	52	高橋 友子
118	S	52	福田 幸枝
119	S	52	星 光男
120	S	53	高橋 良哉
121	S	53	長沼 和秋
122	S	53	山口 真貴
123	S	54	佐藤 隆仁
124	S	54	宮下 廣美
125	S	55	菅原 弘巳
126	S	55	二本木 栄子
127	S	56	阿部 豊
128	S	58	鈴木 正
129	S	60	小林 玲子
130	H	元	武内 里恵

敬称略

東京岩高会は、皆様方のご理解・ご支援のもとで支えられています。

これからもよろしくお願ひ申し上げます。

東京岩高会役員 一同

## 会計報告

(平成30年11月1日から令和元年10月31日)

単位：円

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	415,912	総会費用	629,207
年会費 (134名)	584,000	新年会費用	110,000
総会会費	584,000	慶弔費	0
新年会費	105,000	事務用品費	3,291
暑気払会費	135,000	旅費交通費	1,700
ご祝儀 (10名)	80,000	会議費	55,599
助成金	100,000	通信運搬費	88,729
広告料 (6名)	80,000	会報費	465,220
雑収入 (会報売上)	4,000	暑気払会費	147,265
利子	6	年会費手数料	10,820
		手数料	926
		本部等総会参加費	129,000
		次年度繰越金	446,161
計	2,087,918	計	2,087,918

## 会計予算案

(令和元年11月1日から令和2年10月31日)

単位：円

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	446,161	総会費用	600,000
助成金 本部	100,000	新年会費用	100,000
年会費	550,000	暑気払会費用	140,000
総会会費	580,000	会報費	400,000
新年会費	100,000	通信運搬費	88,000
暑気払会費	130,000	慶弔費	10,000
広告料	70,000	事務用品費	5,000
		年会費手数料	12,000
		会議費	50,000
		本部等総会参加費	130,000
		予備費	441,161
計	1,976,161	計	1,976,161

京岩高会総会



湧き出る笑顔の泉 岩高家族<sup>かい</sup>  
第63回 東京岩高会 総会

本総会には岩高同窓生のほか、迫桜高校、築館高校の卒業生の皆様方 総勢 93 名のご出席を頂きました。  
(令和元年 11 月 23 日 上野公園グリーンパーク地階の会場にて)

サインボード・サインシステム

arte 株式会社アルテ

会長 吉野 玲子 (岩ヶ崎出身)

〒116-0014

東京都荒川区東日暮里5丁目30番9-403

TEL 03(6806)5069

(2016年  
大宮(植竹)工場新設)





同胞の皆様方へ この日の私達の  
姿を 笑顔をお届けします

## 銀座ライツ法律事務所

弁護士 鎌田 正聰 (尾松出身)

事務所

〒104-0061 東京都中央区銀座3丁目10番9号 KEC 銀座ビル 6階

TEL 03-3546-0281 FAX 03-3546-0280

URL <http://www.ginza-rights.jp/index.html>



# 第63回 総会写真集

次回はあなたの笑顔と会いましょう。





# 88歳（米寿）を迎える先輩方を振り返る！

東京右高会は設立63年になります。現在も設立当時の何人かの先輩方（26年卒）は総会や各行事に「ご出席されており、今年88歳（米寿）を迎えます。人との出会いと繋がりの素晴らしさを教えて頂いた26年卒の先輩方に対し、感謝を申し上げ、先輩方の軌跡と今の想いについてご紹介いたします。

## おいたち

### 小野寺 喜美夫

昭和32年の晩春のある日、勤務先に電話があり、話の相手は後輩のM君、短大を卒業する前に会いたいとのこと、約束の場所のお茶の水駅近くのM君の下宿先に行ってみると、8名程集まっており、思い出話に話がはずんだ。東京にいる同窓生が多くなり、同窓会を作って親睦を図りたいとの意見がでて、卒業後6年も過ぎ、この機会を逃さずと思いい同窓会を作ることと決意した。しかしながら、自分たちが若いことや生活がまだ安定していないのに、

同窓会を続けられるか不安もつきまどった。

同年の8月同期5名が参加して発起人を開き、結成大

会を10月13日とし規約や名簿の作成に追われたが、予定どおり田町駅近くの本芝会館で23名が出席し、母校から東京支部結成の承認を受け、祝電も頂き感激したことを記憶している。

資料作成は、僕の勤務先に役員が集まり懸命に作業をし、わら半紙は全部勤務先のもの、心を強くして寸借させて頂いた。その後、会員も増え800名となり、今では総会には100名を超える盛会となっている。

昭和38年10月東京支部會報



若かりし左・栗原さん、右・小野寺さん

## 初代東京支部長として

### 八十島 信治

東京支部の設立経緯のことを語るなら、同輩の小野寺喜美夫氏、栗原孝允氏ということになります。知名度あり、面倒みで人望あり、そして行動力もある両氏が東京支部設立の青写真を描きいよいよ東京支部設立発表となったところで、両氏の根廻しで私を支部長に推すというのです。とりあえず1年間お前が務めろということになり、彼らの援護あつての同窓会を結成することとなりました。

その後、歴代支部長には両氏はもとより、伊藤七郎氏、堀茂氏が務め、後輩へと引き継がれていきました。我ら関東に根付いた人、単身就職、出稼ぎやアルバイトの人、学生で勉強真つ只中の人も、ともに郷土を誇り、いつまでも語り伝えていく同窓会東京支部であつて欲しいと思つております。

平成3年10月 東京支部會報



左・八十島信治初代支部長／右・現(19代)長沼和秋支部長 R.元.7

## 6周年によせて

### 堀 茂

今年も5月26日、新宿御苑にて新入会員の歓迎会を兼ねて臨時総会が盛大に開催しました。心配された天候も当日は五月晴れとなり、芝生で楽しいひと時を過ごすことができました。出席者は140名程で、年度別では新入会員が47名、関東一円に進学・就職された方は100名ですから、5割の出席率、会場が屋外であつたこと、共に学んだ友が何処に進学・就職したかを知ることができるといふ事も手伝つたのだと思います。

新入会員は男女別に列の前に出て、マイク片手に思い思いの自己紹介をし、中には愛社精神を発揮し自社PRをやつて爆笑させる場面や、また各学年代表の苦心話に耳を傾けるなど、少しなりとも役にたったことを知り、準備に費やした苦勞と疲れを発散してくれて、校歌斉唱して解散となりました。

昭和38年10月會報



楽しい会になるよう皆さんで導いていきましょう

伊藤 七郎

第15周年目の支部長に選任されました。同窓会の目的は、労苦の中で、お互いに話し合い、励まし合うことが出来る場、また、母校の近況等を伝えたり、学校生活の楽しさを思い出させる会となるよう、各々が努力するのが第一だと思えます。同窓会は同級会と違い、現実的には楽しい事も少ないと思われます。卒業後20年も経過しており、私たちの学生生活と相違があるように感じています。これからは、これまでに以上に母校の様子の掌握に努め、会の運営も、若い世代の皆様によくを願う方向に、進むべきではないかと考えております。今年には15周年の記念行事を計画しており、一人でも多く参加されます様お願い申し上げます。秋の定期総会までに、会員名簿の作成を計画しておりますので、住所、勤務地等の変更がありましたら、必ず幹事まで、ご連絡下さい。

昭和47年5月東京支部会報

あのころ

佐竹 章

今度の会報を昭和26年卒業の特集号にするから、何か書けとのこと。困った。文才もなければネタもない。唸った末、何気なく手に取った同窓会名簿を眺めている中に、昔のことが浮かんできた。これこれ、これでマア目を埋めようと書き始めたところ。とは言っても、同窓会、地区同級会（私どもの場合はバラ株会）という三重環の中で混乱するが、それはトシの故と思えば気にならなくなるもの。今からすれば、ン十年も前のこと（若かったナ）、当時は年2回、春・秋に総会が開かれ、会場も新宿御苑、議員会館などいろいろあった。準備打ち合わせに有楽町の喫茶店（たしか「白鳥」）に集ったこともあった。あの頃は、同窓会東京支部も発足後そんなに経っていない故もあってか、会員数は今と比べたらずっと少なく、半年ごとの総会開催を可能にした一因ではなかったかとも思われる。それにしてもあの頃はバラ株会の連中も元気で、一声かければホイホイできてくれたのに、今は半分以下

下になってしまった。時の流れを感じる次第。

老いてこそ生き甲斐

亀井 榮利

小生は岩高男子卒業第一期生として誇りを感じています。然し、農家生まれで子どもの頃から農業の手伝いをさせられ、高校在学中と学校卒業後も何もお手伝いできず今に至るも、反省の日々を送っており、申し訳なく感じております。

飯田校長をはじめ、各先生方のお名前担当を記憶しております。また、創業した会社も50年を過ぎ、経営業は息子任せです。

然し、小生も88歳を過ぎ、これからの一日一日をどのように何を考え生きることが大きなテーマで、小生の生き甲斐を考えておりました。

この時本屋でハツとする本を見つけました。題名は「老いてこそ生き甲斐」。副題は「経験と成熟がもたらす人生の配当とは何か」。

小生にとって成熟はあり得ない未熟なのですが、配当はこれからも考えて購入熟読中です。



H22.2.25 突戸ヒルズカントリークラブにて26年卒の面々 左より 伊藤さん、亀井さん、栗原さん、小野寺さん

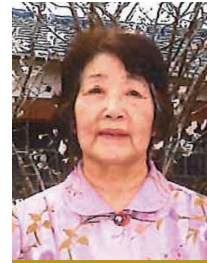


左・亀井さん 右・S.32年卒高橋東三さん(同郷・元東京鷺沢会会長)



H11.11 26年卒 旅行にて 左より2人目 堀さん、3人目 佐竹さん、一番右 伊藤さん

# 六十三歳からの ライフワークで 初の女性議長を務める



**中尾 富枝**  
(旧姓 門伝)  
S. 33年卒  
鶯沢出身  
熊本県荒尾市在住

わが家の庭の片隅に、真っ白い小花をつけて柳のように揺れている雪柳。

この花が咲くと私は一瞬にして故郷の春の情景を思い出す。故郷では田植えの頃に満開だった雪柳。たしか田植え花と呼んでいた。この後に続く夏山の湧き立つ緑の濃淡、錦秋は言うに及ばず、葉を振り払った薄墨色の山々も好きだった。

学校の帰りはいつも栗駒山を眺めながら歩いた。高校に通う田圃の中を一直線に走る電車。田町の停留所で降りると、黙々と上野坂を登る集団。岩高生徒は最初からこうだったと思っていたら、兄（亀井榮利）が「私は下駄履きで線路伝いに歩いて通ったんだよ。学校は町中にあっただから、今より距離もあつたんだ。」と話す。

新制高校第一回卒業生の兄。岩高の沿革史によりますと、昭和十六年に町

立の実科高等女学校として出発。昭和二十三年に町立岩ヶ崎高校と改称。二十五年に一町六ヶ村の組合立高校に移管。翌二十六年に県立となって上野の新校舎に移転した、とあります。

沿革史を見るにつけ、戦後間もない二十五年に一町六ヶ村の親達が子供に高等教育を授けたいと願った気持ちと、下駄履きで歩いてでも学びたいと願った当時の親と若者達の熱い思いが胸に迫ります。

以来まさに幾星霜。昭和三十三年卒業の私でさえ、六十有余年の年月が過ぎ去りました。

この間、私は熊本県人となり、四人の子の親となり、六十三歳の時、地域から推されて市議会議員に立候補し、当選させていただきました。二期目には議員団の要請で議長に就任しました。当時、熊本県下十四市議会初の女性議長でしたし、九州市議会百十五市議会初でもありました。今もって私に続く女性議長が誕生しないのは残念です。地方の政治風土は今も発展途上です。

さて、私が人生最後のライフワークとして書いた「マッカーサーと呼ばれた女性」を寄贈させて頂きましたところ、たくさんの方々に関心を持って

下さったとお聞きしております。「業を成すには時がある」という言葉があるようですが、ギリギリ時に間に合ったのでしょうか。

拙書を御縁に幸せな御縁をたくさん頂きましたし、「東京岩高会」の皆様の結びつきの強さも教えて頂きました。ネットワークとは、一部分を動かせば全体が動くということなそうです。岩高同窓会がネットワークとしてますます発展されまますよう心から祈念致しております。



議長室での私。取材に応じているところ。  
平成19年6月



出初式に議会の代表として参加 平成22年1月



議長として成人式の祝辞を申し上げます。  
平成20年1月

鶯沢小学校の校庭で踊った盆踊りの炭坑節  
今は本場の「三池炭坑」での夏祭り  
平成16年夏祭り



日比谷公会堂で行われます。(ました。) 平成20年5月



著書「マッカーサーと呼ばれた女性」

# 大学教授として 教壇に立つまで



高橋 良哉

S.53年卒  
鷺沢出身

鷺沢小学校、中学校を卒業後、1974年（昭和49年）に岩高に入學しました。岩高では、男子バレーボール部に入部しましたが、部員数は、わずか新入生3人、2年生3人、3年生1人でした。練習は、大雪で電車（栗原電鉄）が運休となつてもやりました。その甲斐あつてか、2年連続で県大会のベスト8まで進み、更に、東北地域の宮城県枠2名の選抜メンバーに選ばれました。

勉強の方は、国語、英語などの語学系が苦手で学年で最下位のあたりにいました。生徒会長を務めていたこともあり、国語の先生にはよく怒られていました。しかし、理系の科目は、小学生の頃から好きで、学研の理科実験を自宅でよくやっていました。父親が高校教師であつたこともあり、専門的な辞書や図鑑が身近にあり、暇なときに開いては眺めていました。

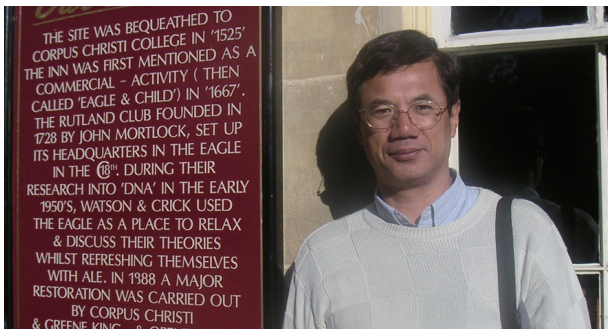


学生時代:筑波大学下田臨海実習センターにて(下田、1979年)

大学は、体育学部への進学を勧められました。高校時代に生物学を面白く教えてくださった高橋忠先生の影響もあり、生物学科を有する東邦大学理学部へ進学することにしました。大学では、理科の高校教師を目指し、勉強していましたが、卒業研究で「老化」の研究に触れたのを機に、更に大学院に進学し、米国テキサス大学へ留学しました。現在は、東邦大学薬学部生化学教室の教授として「生化学」、「生命科学」などの講義を、約200名を超える学生の前面で行っています。研究活動では、国内学会のみならず国際学会で研究発表やシンポジウムを行うまでになりましたが、いまでも英語には苦労しています。今更ですが、理科だけでなく語学もしっかりと勉強しておくべきでしたね。



テキサス大学医学部留学時代:クリスマスパーティーにて(サンアントニオ、1991年)



国際老年学会で訪れたワトソン・クリックのDNA二重らせん構造の議論の場、The EAGLE (イギリス、2015年)



ノーベル生理学・医学賞種受賞(1991年) E.ネーアー博士とWCGG 国際会議にて(台湾、2015年)



東邦大学薬学部生化学教室教授に就任(2007年)

△プロフィール▽  
1959年11月1日生まれ。鷺沢遠堀出身。  
1982年3月、東邦大学理学部生物学科卒業。87年3月、同大学院薬学研究科博士後期課程修了。薬学博士。同年4月より同大薬学部助手、91年〜93年、テキサス大学医学部ポストドクトラルフェローを経て、95年より東邦大学薬学部講師、2002年より助教授、2007年に教

授に就任。09年〜12年、東邦大学理事、評議員、副薬学部長を務めた。また、国立長寿医療センター客員研究員、東京都老人総合研究所協力研究員、日本薬学会代議員、日本生化学会代議員、日本基礎化学会理事、同学会学術交流委員、老化促進モデルマウス(SAM)学会幹事、日本微量元素学会評議員などを歴任し、現在もそれらのいくつかの役員を務める。専門は、生化学、基礎老化学。

「栗駒山の里だより」  
ワールド



**土井 祐之**  
S.54年卒  
栗原市鳥矢崎在住

東京岩高会ふるさと大使 土井 祐之  
さんのブログ「栗駒山の里だより」か  
らご紹介頂きました。



一迫ユリ園



夏の夕暮れ



そば処一迫「はのきさね」の黒ざる



夕立の後の文字三山



稲刈り始まりと、ねじりほんによ



栗駒山の紅葉東栗駒コース



岩ヶ崎スープ屋コトコトさんの無農薬野菜のランチ



六日町みんなであわせになるまつり



栗駒イルミネーション、旧栗駒駅で



鳥沢養昌寺の銀杏



文字の里の紅葉と栗駒



田んぼのマガン

<ISO14000:2004 取得>

— 環境に思いやり —

金属スクラップ・リサイクル

**株式会社 ハガ**

栗原市栗駒中野田町西150

TEL0228-45-3421 FAX45-5300



↑ 栗原田町にある広大な敷地と工場全景  
代表：芳賀 恭 (S.46年卒・岩ヶ崎出身)



1月なのは雪が少ない行者滝



里谷のスズメたち



細倉だるま屋のカラクションラーメン



岩高 新しい体育館と桜



栗駒山金名水



栗駒病院前河川敷の桜並木



耕英の水芭蕉



雪融け進む栗駒山



文字深山牧場



にぎわう栗駒夜市



菅原広巳さん仙台ライブ



奥鶴栗駒山の「夏酒」



くりこま山車まつり本祭り

「みやぎの環境にやさしい農産物」認証

# くりこま高原米

栗駒山の清流で育まれ 食味最高

農業生産法人 有限会社くりこま高原ファーム

〒989-5341 宮城県栗原市栗駒稲屋敷大尻6番地

TEL0228-45-2893 FAX0228-45-5425

卒業生：S47加藤洋、S52岩淵功、S53五十嵐功、S55五十嵐晃、S58工藤勝枝、H9糟川亮、H19加藤圭

宮城・栗駒産 ひとめぼれ 高原米



URL <http://kougenfarm.jp/>



菅原勲会長と栗原市マスコットキャラクター  
「ねじりほんによ君」

# 東京栗駒会

会長 菅原 勲

鶴ヶ飴 駒ゆべし 季節の和菓子



## 岡本老舗

宮城県栗原市栗駒岩ヶ崎六日町 38

☎ (FAX) 0228 (45) 1052

代表：岡本 浩一 S.53年卒 岩ヶ崎出身



## キャプリス『Caprice』

キャプリスは、10年程前に宮本洋子さん (S.42年卒) が八丁堀に開いたお店で、シェフは息子さんの勝徳さん。メニューは洋食創作料理、昼のランチプレートから、夜は単品だけでなくコース料理まで楽しめ、鰹のタルタル、しめた鯖のバルサミコ酢、豚バラを柔らかく煮込みあげたもの、ベーコンや野菜のグラタン、手作りのピザ、メインはお肉かお魚から選ぶことができます。ボリュームもありリーズナブルです。シェフの勝徳さんの銀座中学校の恩師は、S.46年卒の鈴木富樹さんだったとか。



東京都中央区八丁堀2-10-3  
03-3553-5388

最寄駅：  
東京メトロ 八丁堀駅5分、  
JR東京駅20分

営業時間：  
月～金曜日 11:30～14:00、  
17:30～22:00

土曜日 17:30～22:00  
定休日：日曜日・祝日

## 「和風酒場 海ぼうず」

山本信子さん (S.46年卒) の息子さん 直樹さんのお店です。豊富なおつまみメニューと充実のドリンクが楽しくて、海の幸から串焼をはじめとし、リーズナブルなおつまみメニューとこだわり日本酒をはじめとする幅広いドリンクを揃えており、楽しめる居心地のいい居酒屋です。店内貸切りや席貸切りもできますので歓迎会や同窓会などさまざまなご宴会でご利用できます。閉店時間は遅くまでなので、とことん飲み明かしたい方は是非訪ねてみてはいかがでしょうか。



埼玉県吉川市木売2-6-5  
吉川センター酒井ビル 3F  
048-981-3186

最寄駅：  
JR 武蔵野線 吉川駅2分

営業時間：  
平日 18:00～3:00、  
金土祝前日 18:00～5:00

定休日：月曜日



ITで実現できる  
創造力を生み出すオフィス



理工事務機株式会社

会 長 亀 井 榮 利

(旧姓・門伝 鷺沢出身)

代表取締役 亀 井 賢太郎

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-1-14 A&Xビル  
TEL. 03-3293-8955 FAX. 03-3292-0140

# 東京岩高会の活動

2020年  
第62号

令和2年7月18日 発行

発行人

宮城県岩ヶ崎高等学校同窓会東京支部東京岩高会

支部長 長沼和秋

(有)第一コミュニケーション印刷



本部総会にて 高橋幹事長(左)  
菅原副市長(右) R.元.8



4校会 R.元.12



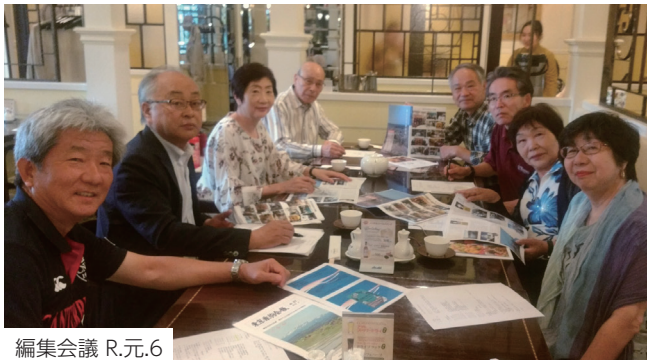
大塚商人まつり R.元.10



本校新築体育館見学 R.元.8



本部総会 プラスバンド部への支援 R.元.8



編集会議 R.元.6



東京乗駒会 R.元.6



築館高校同窓会東京支部 R.元.7



秋の栗原収穫祭in美鶴 R.元.10



新年会 R.2.1

## 東京岩高会 年会費ご協力をお願い

皆様方から頂いた貴重な年会費が活動の支えになっております。昨年は130名の皆様方から浄財を賜りまして、真に有難うございます。

本年も引き続き倍旧のご協力の程、宜しくお願い致します。

(1) 年会費：3,000円

(2) 振込期限：10月31日までに同封の郵便振替用紙により最寄りの郵便局で振込みをお願いします。  
なお、お振込みにあたっては、ATMをご利用頂くと手数料が軽減されます。

東京岩高会 支部長 長沼和秋  
幹事一同